

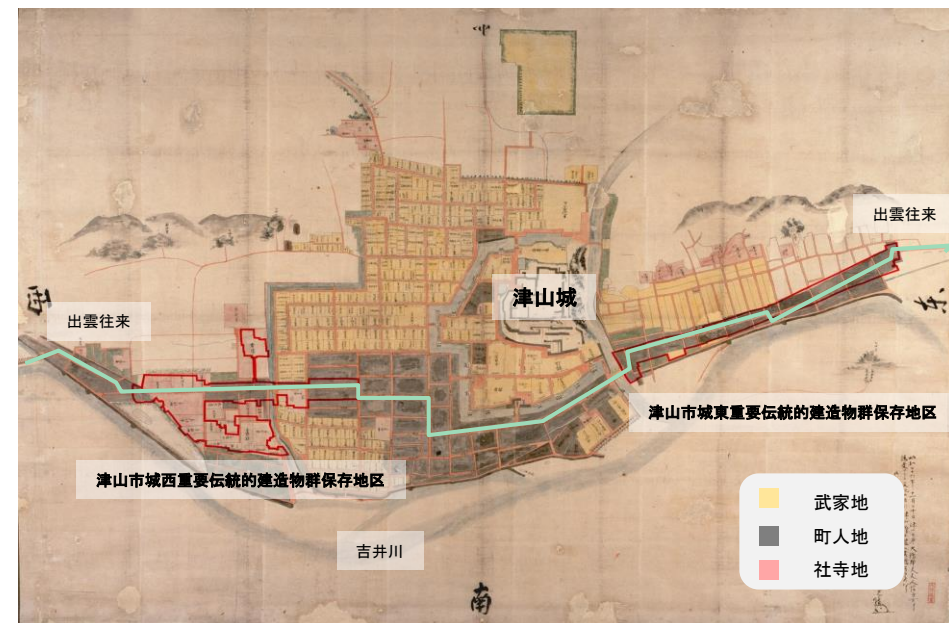
津山市城東(岡山県)

(1) 保存地区の概要

地区名 津山市城東
種別 商家町
面積 約8.1ヘクタール
選定年月日 平成25年8月7日
特徴

津山市城東伝統的建造物群保存地区は、城下町の町人地として出雲往来沿いに発展した町並みで、江戸時代初期に形成された地割がよく残っている。出雲往来に面して、江戸時代の町家を主体として昭和戦前期までに建築された主屋は、切妻、平入りを基本としたつし2階建てとし、出格子窓、虫籠窓、なまこ壁、袖壁を使用した優れた意匠の伝統的建造物が建ち並び、城下町に形成された商家町の歴史的風致をよく伝えている。

津山城下町絵図(享保8年頃)



(2) 保存地区のあゆみ

昭和61年度(1986) 出雲街道沿い約1.2kmを「町並保存地区」に指定
昭和63年度(1988) 町並保存対策調査
平成元年度(1989) 津山市町並保存対策補助事業(独自事業)開始
平成21年度(2009) 「津山市歴史的風致維持向上計画」認定
平成22年度(2010) 城東地区の一部無電柱化 完成
平成25年度(2013) 『重要伝統的建造物群保存地区』選定(8月)
平成26年度(2014) 修理・修景事業 開始
平成27年度(2015) 城東ポケットパーク 完成
道路の美装化(カラー舗装) 完成
平成28年度(2016) 旧苅田家住宅「重要文化財」の指定
平成30年度(2018) 「津山市歴史的風致維持向上計画(第2期)」認定
平成30年度(2018) 「津山市城東伝統的建造物群保存地区防災計画」策定
令和2年度(2020) 城下小宿 糶や(旧苅田家付属町家群)完成



勝間田町の町並み



西新町の町並み

津山市城東(岡山県)

(3) 保存地区の保存と整備

・修理・修景件数

平成26年度	修理4件、修景1件
平成27年度	修理7件、修景1件
平成28年度	修理8件、修景1件
平成29年度	修理6件、修景1件
平成30年度	修理4件
令和 1年度	修理5件、修景1件
令和 2年度	修理2件、修景2件
令和 3年度	修理7件、修景1件
令和 4年度	修理8件
令和 5年度	修理3件、修景2件

・防災設備整備事業

伝建地区の町並み及び住民の生命・財産を守るため、平成30年度に防災計画を策定し、連動式火災警報器の設置に取り組んでいる。

・まちなかサイン事業

デジタルサイネージの設置や案内表示の変更により、観光客の利便性と回遊性向上に取り組んでいる。また、案内板等のサインの統一化を進め、地区にふさわしい景観形成に努めている。

・無電柱化整備事業

平成22年度に一部区間が完了している無電柱化について、地区にふさわしい工法の検討・協議を進めている。

修理前



修理後



津山市城東(岡山県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

その1 伝統的建造物の活用とまちづくり

- ・町家を活用しての出店例がある。
- ・出店により地域の賑わいを創出している。
- ・観光モデルルートに紹介されている店舗がある。

宿泊施設(一棟貸し)



旧銭湯を活用したコーヒースタンド



家具工房(製作・販売)



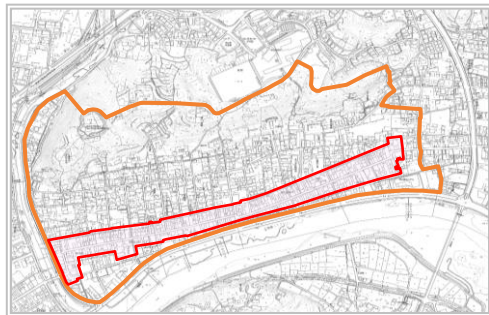
空き家を活用した飲食店 (豆腐、ピザ、カフェ+宿泊施設、喫茶店)



津山市城東(岡山県)

その2 周辺への波及効果

市では景観法にもとづく津山市景観条例を定め、保存地区を含む周辺地区を「景観重点地区」に位置づけ、保存地区の周辺をふくめた景観整備を行っている。



城東地区景観重点地区 (区域図)

(5) 住民等の取り組み

・城東・城西重要伝統的建造物群保存地区のまち歩きガイド

津山観光ボランティアガイドの会では、津山市にある2つの重要伝統的建造物群保存地区をガイドと巡るまち歩きツアーを実施している。



「城東・城西まち歩き」のチラシ



・「城東むかし町」の開催

毎年11月に保存地区一体を歩行者天国にして開催される「城東むかし町」は、昔ながらの小道具や昔風のイベントで町人文化を演出し、市民や来場者を楽しませている。

平成元年から実施しており、各種団体や地域住民が一体となって、取り組む恒例行事となっている。

伝統的建造物群の町並みを散策するなど、保存地区の周辺住民も多数参加し、保存地区の良さを再認識することで、地区の継承が図られている。



「城東むかし町」の様子

・様々なイベントの開催

城東重要伝統的建造物群保存地区の町並みを活かしたアート&クラフトを開催し、作家の手仕事作品の展示・販売や、横野和紙を使ったあかり展を開催している。



「つやま城東まち歩き アート&クラフト 横野和紙あかり展」の様子